

アートラボあいち：アーティストインレジデンスプログラム「まちとsynergism」

愛知県名古屋市の都心部に位置する長者町（名古屋市中区錦二丁目）地区は、愛知県で開催されている現代アートの国際芸術祭、あいちトリエンナーレで三度、まちなか会場となっています。

初回2010年のトリエンナーレ会期中、まちなかではいくつもの作品が展開され、アーティストや地域の人々、ボランティアが出会い、交流する場面が見られました。その光景に触発され、アートに関わる市民団体が立ち上がり、若いアーティストたちが活動拠点を持ち、まちなかにトリエンナーレの作品が残されて維持管理されるなど、まちとアートの相乗作用が今なお起こり続けています。

「アートラボあいち」は、2010年のトリエンナーレ閉幕後、長者町地区にあった展示会場の一つを引き継ぐかたちで設置されたアートセンターで、県内の芸術大学主催による展覧会などを行ってきました。2015年には活動場所を長者町地区内と大津橋の二箇所に移して、その運営を続けてきましたが、まちの再開発に伴い、2017年3月末日をもって、長者町地区の建物からは撤退し、大津橋にその活動を集約させます。

そこで、長者町地区での最後のプロジェクトとし、滞在制作をとおして長者町地区の地域資源を活かすことのできるアーティストを2組公募いたします。制作された作品はレジデンス終了後、アーティストとアートラボあいち、作品に関わる関係者との協議のうえ、その後も可能な限り保管し、維持管理を行う予定です。

募集人数

最大2組

応募条件

- ・ 地域に関わり、長者町でしか成立しない作品であること。（作品形態、ジャンルは問いません。）
- ・ 2017年1月11日（水）～3月10日（金）の会期中、スタジオ（アートラボあいち長者町）で制作し、その場所を公開できること。
- ・ スタジオでの制作物を2017年3月11日（土）～3月31日（金）の成果展で発表できること。
- ・ 月1回のオープンスタジオへ参加できること。（※第3水曜日を予定）
- ・ 経歴、年齢、国籍不問。ただし日本語でのコミュニケーションがとれること。

サポート体制

- ① アートラボあいち長者町を制作スタジオ、および成果展会場として提供
- ② 滞在場所の無償提供
- ②制作費の補助 1組上限100,000円
- ③キュレーターによる制作・展覧会のアドバイス
- ④広報サポート（WEBサイト等での広報、プレスリリースの発行、成果展チラシ作成など）
- ⑤そのほか、専門スタッフのコーディネート

審査員（順不同・敬称略）

服部 浩之（元あいちトリエンナーレ2016共同キュレーター）

武藤 勇（N-mark代表）

滝 一之（株式会社滝一 代表取締役）

武藤 隆（長者町アートアニュアル副会長）

応募方法

所定の応募用紙を期限内にアートラボあいち大津橋まで郵送または持参にて提出してください。作品プランの参考になる資料があればそちらも提出してください。資料のみ後日ご返却します。

※ いただいた個人情報は、応募に関する問い合わせや、選考結果の連絡等以外には使用しません。

審査方法

審査員による制作プランでの審査。（以下の日程で審査を公開します）

2016年12月23日（金・祝）14:00～17:00 アートラボあいち大津橋2階多目的スペース

応募期間

2016年11月30日（水）～12月21日（水）19:00必着

結果発表

2016年12月26日（月）アートラボあいちWEBサイトにて発表します。

会期

制作期間 2017年1月11日（水）～3月10日（金）うち水曜～土曜日の35日間

成果展 2017年3月11日（土）～3月31日（金）うち水曜～日曜日の16日間

スタジオ

①アートラボあいち長者町3階事務室および情報スペース

②アートラボあいち長者町4階展示室

③アートラボあいち長者町5階展示室

※アートラボあいち開館中、スタジオは自由にご覧いただけます。（水曜～土曜日11:00～19:00）

成果展会場候補地

①アートラボあいち長者町3階～5階

②旧玉屋ビル内

③伏見地下街

④そのほか錦二丁目エリア内

公募に関するお問い合わせ・応募先

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内三丁目4-13 愛知県庁大津橋分室2階

アートラボあいち大津橋「レジデンスプログラム」係

公募に関するお問い合わせは、担当：寺島までメールにて受け付けします。

info@artlab-aichi.com

主催：アートラボあいち（NPO法人まちの縁側育くみ隊）